

～医学部受験生のみなさん～
自治医科大学医学部の御案内

自治医科大学の概要

◇自治医科大学は、医療に恵まれないへき地等における医療の確保向上及び地域住民の福祉の増進を図るため、全国の都道府県が共同して設立した医科大学です。

【設立】昭和47年 【所在地】栃木県下野市

◇授業料等の修学に要する経費は全額貸与され、卒業後ただちに出身の都道府県に戻り、知事の指定する医療機関に大学在学期間の1.5倍の期間（義務年限）勤務した場合に、返還を免除します。

※東京都の島しょ・へき地
大島・利島・新島・式根島・神津島・三宅島・御蔵島・八丈島・青ヶ島・小笠原諸島（父島・母島）・奥多摩町・檜原村

自治医科大学医学部入学試験（東京都）について

1 令和7年度入学試験日程

出願手続期間	令和7年1月6日（月）～1月22日（水）17:00 必着 ※消印有効期限 1月21日（火）	東京都で受付
第1次試験 [学力] [面接]	令和7年1月27日（月） ※学力試験及第者の発表は、1月27日（月）19:00 予定 令和7年1月28日（火） ※学力試験及第者のみ、面接試験を実施する。	東京都で実施
第1次試験合格者発表	令和7年1月31日（金）13:00	
第2次試験	令和7年2月5日（水）	自治医科大学 で実施
第2次試験合格者発表	令和7年2月14日（金）17:00	

2 募集人員

2名又は3名 ※全都道府県合計123名

3 志願者数（過去5年）

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
志願者数（人）	130	124	116	115	106

自治医科大学医学部の魅力

1 医師国家試験合格率全国第1位

第118回（令和6年）医師国家試験合格率は100%で、直近12年間で全国トップを11回達成しています。

2 修学資金貸与制度・奨学資金貸与制度

入学者全員に学生納付金相当額及び入学時学業準備費（6年間合計2,300万円）が貸与される修学資金貸与制度があります。この修学資金は、所定の勤務をすることにより返還が免除（左記「自治医科大学の概要」参照）されます。この他、奨学資金貸与制度もあります。

3 全寮制

6年間の学生生活を寮（個室）で過ごします。キャンパス内にあるので通学も便利です。オートロックでプライバシーが守られている一方、部屋を出ると沢山の仲間と交流を図ることができ、医師に欠かせないコミュニケーション能力を養うことができます。

4 クラブ活動が活発

多くのクラブが積極的に活動しています。複数クラブに入っている学生も少なくありません。東日本医科大学総合体育大会でも、毎年多くのクラブが入賞しています。全寮制なので勉強とクラブ活動を両立させた充実した毎日を送ることができます。

5 都人会

出身地が同じ学生は、卒業後に地元の地域医療と一緒に支えることになる存在です。都人会（県人会）は、そのような絆を在学中から深めるために作られた会で全員が所属します。夏休みは、メンバーと地元に戻り、へき地等医療の理解やへき地等医療機関で働く医師やスタッフとの交流を深めるため、医療体験実習、研修会等を行っています。

卒業後の勤務について

卒業後は、都職員として採用され、臨床研修修了後、へき地公立診療所等への派遣勤務に従事するとともに、都立病院等において専門研修を実施します。

《義務年限期間勤務イメージ》

区分	内容	年次								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
臨床研修 （2年）	都立広尾病院、多摩総合医療センター等において基本研修科目（内科、外科、救急部門）、必修科目（小児科、産婦人科、精神科、地域保健・医療※）を中心に、島しょ・へき地医療に必要な技術を習得する。 ※地域保健・医療研修は2年次に島しょ診療所等において実施									
へき地勤務 （4年6か月）	島しょ・山間へき地の公立診療所等に、原則として、合計4年間の長期派遣勤務に従事するとともに、合計6か月程度の臨時派遣勤務に従事する。			臨時	2年		臨時	2年		臨時
専門研修 （2年6か月）	原則として、3年次及びへき地勤務を行っていない期間、都立病院等に勤務し、専門研修等を行う。			1年			1年			1年

（問合せ先）

東京都保健医療局医療政策部医療人材課人材計画担当 03（5320）4552